

牧之原市学校再編計画
保護者向け
意見交換会

通いたい・通わせたい

新しい学校を 考えよう

市では、現在、学校の再編について検討しています。これから子どもを学校に通わせるみなさんに、市が新しい学校をどう考えているのかを知ってもらい、率直な意見交換をしたいと考えています。

一方的に話を聞くだけでなく、グループの人と話をしたり、市に質問をしたりすることができます。

お友だちと一緒に参加してみませんか？多くの方のご参加をお待ちしています。

日 程

- ① 令和3年7月22日（木・祝）14：00～16：00
市総合福祉センターさざんか2階会議室
- ② 令和3年7月29日（木）19：00～21：00
市史料館2階 ホール
- ③ 令和3年7月30日（金）19：00～21：00
牧之原コミュニティセンター

①～③は、
同内容で
開催します

内 容

- 学校再編計画（素案）の内容と今後の進め方の説明
- 学校再編計画についての意見交換

対 象

- ①・② 市内在住の0歳～就学前の子どもを持つ保護者
（お住まいの地域に関係なく、ご都合がつく方にお越しく下さい。）
- ③ 牧之原市菊川市学校組合学区在住の0歳～就学前の子どもを持つ保護者

申 込 方 法

参加していただける方は、次の内容を、メールまたはFAXにてお知らせください。（1人の方が複数人分を申し込んでも大丈夫です。）

①お名前 ②お住まいの地域 ③希望の会場

※ 7月20日（火）〆切 ※

牧之原市教育委員会・牧之原市菊川市学校組合教育委員会

電話 53-2642 FAX 53-2657

メール kyoiku@city.makinohara.shizuoka.jp

牧之原市学校再編計画素案の概要

意見交換会では
この内容を基本に
説明します！

新しい小中一貫校をつくります

目指す 学校像

「みんなの学校」

- ①子どもたちが「学校が楽しい！」と思える子ども主体の学校
- ②みんなで子どもを育てる「共育（きょういく）」の学校

目指す学校づくりのための5つの基本方針

● すべての子どもが主役の学校

すべての子どもにとって、学びやすく活動しやすい教育環境を、子ども主体で考えます。

● 「次代を切り拓く力」を育む学校

一人一人の可能性を伸ばし、次代を切り拓くために必要な人間力を育むことができる環境をつくります。



● 安心・安全な学校

児童・生徒、教職員等が安心して学校生活を送れるよう、市民にとって最も不安な自然災害である津波の浸水想定区域外に、各種災害に強い学校施設をつくります。

● 地域の未来を担う子どもを育てる学校

地域の人に関わり、地域の資源や行事を通じて、子どもたちが地域愛を育むことができ、学校がみんなの場所となるようにします。

● 働きやすく充実した指導ができる学校

教職員が働きやすく、充実した指導ができる組織体制と施設環境を整備します。

5つの基本方針を実現する小中一貫校をつくるには

規模

1 学年3 学級以上を基本

- ・開校時の規模・長期的に単学級にならない
- ・次代を切り拓く力を育むには一定の集団が必要

学校区

市立の学校は、相良地域、榛原地域に1校ずつの小中一貫校

- ・地頭方地区は、相良地域の小中一貫校に通うことを御前崎市と協議
- ・牧之原小・中学校は、高台開発計画があるため、再編対象とするかどうか、今後の人口動態を見て教育委員会が判断

形態

施設一体型校舎

- ・校種は別に定める
- ・校舎の配置などは、計画策定後、学校ごとにつくる「学校施設整備基本構想」で検討

場所

● 相良地域

相良総合センター「い〜ら」から
相良総合グラウンド周辺

● 榛原地域

榛原中学校からぐりんぱる周辺

- ・津波浸水想定区域外で、各種災害に強い
- ・できるだけ多くの児童生徒が、徒歩または自転車で通うことができる
- ・道路やインフラ等の状況を踏まえ、関係部署と連携を図る

開校

目標時期

令和12年度（2030年）

